

第2回

令和5年度 情報教育対応教員研修全国セミナー 広教オンラインセミナー2023開催速報！

配信日時 2023年10月20日（金）10:00～

オンデマンド配信期間 2023年10月20日（金）～2024年3月31日（日）

※セミナーへのお申込み者は、この期間内でしつらいつでもご視聴いただけます。

費用：無料

対象：教育委員会、学校現場の先生方

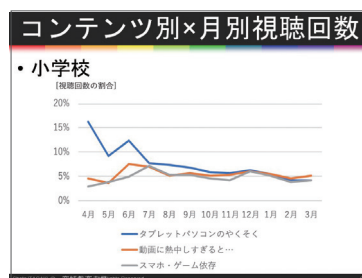
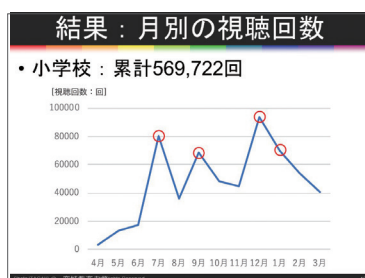
主催：一般社団法人 日本教育情報化振興会（JAPET&CEC）

共催：日本教育工学協会（JAET）

後援：文部科学省、総務省、経済産業省

協賛：広島県教科用図書販売株式会社

2023年度2回目の広教オンラインセミナーでは、佐藤和紀先生・板垣翔大先生と、前年度から継続して取り組んでいる「事例で学ぶNetモラル」のログを使った活用実態をテーマに取り上げます。今年度は、利用ログをもとに、見られているコンテンツの傾向から、学校・地域ごとに考慮すべきことや子どもたちの情報モラルに対する意識や実態を可視化できるのではないかと想定し研究を進めています。この研究で、教員や子どもたちの実態を把握できるようになると、「事例で学ぶNetモラル」を個別最適な形として「情報活用能力の育成」の学習に活かせると考えています。



※板垣翔大、小泉陽、田坂和広、佐藤和紀、堀田龍也(2022) アクセスログからみたGIGAスクール構想1年目の情報モラル教材の利用傾向 全日本教育工学研究協議会第48回全国大会、1-C-1

特別講演 1



「オンライン教材のアクセスログに見る教育データ活用可能性」

板垣 翔大 先生

宮城教育大学 教科教育学域（技術科教育）准教授

情報モラル教材の利活用データは、特に若い先生の助けになります。例えば、どの時期にどの教材がよく利用されているか、隣の学級が今どんな教材で学習しているか、ひと目でわかります。こうしたデータを、自分の学級での指導に活かします。目の前の子どもたちの実態や課題も、自分の「感覚」だけに頼らず、データとして客観的に把握できます。

子ども自身が、自分の学習ログを利用することも想定しています。例えば、自分がまだ勉強していない分野はどこか、どこ分野の正答率が低いかをデータで把握し、自分の学習を自己調整していくのです。将来的に、データを学習や仕事に活かしていく、良いトレーニングにもなるでしょう。

特別講演 2



「教育データを活用した学習指導」

佐藤 和紀 先生

信州大学 学術研究院教育学系 准教授

誰でも簡単に、教育データを指導に活かせる時代が到来しました。例えばGoogleフォームで、子どもや保護者にアンケートを取ったり、簡単なテストを行ったりして、その結果を指導に反映できるようになりました。「データ駆動型」の教育が、始まっています。

実は情報モラル指導こそ、教育データに基づいた指導が必須です。目の前の子どもたちの実態や課題に合った指導でなければ、子どもに響かず、「空振り」に終わってしまいます。国やマスコミが行う実態調査はあくまで平均になっているので、目の前の子どもたちの教育データを用いることで、より「刺さる」指導ができるようになるのです。

[セミナーの詳細はこちら](#)



[お申し込みはこちら](#)

